

「いのち」の教育実践事例

☆新庄市の実践（新庄市立萩野学園）

生命の継承の
大切さに
関する教育

－ 次世代に生命をつなぐことの大切さを考えさせる郷土伝統文化学習 －

総合的な学習の時間に「はぎの探究タイム～新庄・萩野の未来づくりプロジェクト～」のテーマのもと、様々な地域を調べる活動や体験活動を取り入れ“ふるさと”のよさを知る学習を進めている。その中の伝統文化の継承に関わる取組みの紹介です。

○「新庄の伝統文化の継承」の実践

・ 6年生は、「地域の伝統文化に触れ、継続に向け、自分たちが何ができるか考え実行しよう」のテーマのもと、新庄祭りや囃子、鹿子踊等の伝統文化について調べ学習や体験学習を行っている。地域の萩野鹿子踊保存会の方々に、ささらや太鼓、鹿子頭等の実物を示しながら教えていただき、鹿子踊について学んでいる。

◆学習を通して（児童の感想より）

『鹿子踊のことを知らなかったけれど、お話を聞いて興味がわいてきた。いろいろな体験をして、これから新庄祭りや様々な文化に取り組み、もっと知れたらいいなと思った。また、様々な人達に伝えていきたい。』

『たくさんの人の前で踊ってみて、少し緊張はしたけど、とても楽しかった。練習の成果が出せてよかったし、また、これを機にいろいろな人が鹿子踊を知ってくれたのではないかなと思うと、うれしかった。』

○「郷土PR」の実践

・ 8年生は、「地域のよさを知り発信しよう」のテーマのもと、「郷土PR」の意義について学び、PRしたい内容を考え、その課題解決に向けて探究的な学習を進めている。

その一つの実践例として、修学旅行で訪れた都内の商店街で、自分たちで栽培した農産物を調理し、芋煮を振舞った。さらに、これまで学習してきた囃子を披露し芋煮振舞いを盛り上げた。新庄・萩野地区をPRすることを通して、ふるさとのよさを再確認し、ふるさとへの愛着を持つことができた。



保存会の方々に、伝統文化の継承への熱い想いや課題等を聞き、伝統文化の継承について考え、地域の方が伝統文化を守り引き継いでいこうとしていることを知りました。

市民プラザで行われた大会アトラクションで、鹿子踊を発表し、地域に伝わる伝統文化を伝えることができました。



自分たちが育てた地元野菜を使った芋煮の振舞いや囃子の披露を通して新庄をPR！

